

平成21年9月定例議会

こんにちは No.24 魚沼市議会 です



堀之内小学校5年生
学校田の収穫



トキめき新潟国体
魚沼会場

定例会・市長行政報告・補正予算・20年度会計決算 … 2～3ページ
20年度会計決算審査特別委員会報告 …… 4～5ページ
議案賛否の状況 …………… 6～7ページ
一般質問 …………… 8～13ページ
常任・特別委員会報告 …………… 13～15ページ
市民の声・あとがき …………… 16ページ

発行責任者 議長 星 謙一 広報委員長 大屋 角 政 副委員長 森 山 英 敏
委員 遠 藤 徳一 渡 辺 一 美 高野 甲子雄 本 田 篤

収支3億9,563万円の黒字

9月定例会

平成21年第3回（9月）定例会が、9月9日から10月6日までの28日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、平成21年度一般会計の補正予算について魚沼市中越大震災復興支援事業の5億5,500万円を新たに追加したものが審議されました。また、特別会計2件の補正予算をはじめ、4件の条例改正、市道路線の変更、財産の処分、工事請負契約の変更が審議されました。そして、平成20年度一般会計ほか13件の特別会計と企業会計の決算の認定について議長を除く議員全員が委員となる特別委員会に付託され、3日間に渡り慎重に審議されました。

当局から提出された議案の全てが可決・認定となりました。また、1件の陳情が提出され採択しました。

※一般会計補正予算と魚沼市中越大震災復興支援事業の内訳は下の表となっています。

議案賛否の結果は6～7ページをご参照してください。

主な市長行政報告

●魚沼基幹病院（仮称）建設について

8月12日付けで県から建設地についての同意を求める依頼があり、県との協議の結果、以下の2点の意見を付して同意書を提出した。

- ゆきぐに大和病院の規模及び診療科については、魚沼地域医療整備協議会に諮ることを基本とする。
- 魚沼基幹病院（仮称）敷地の土地利用計画、機能配置計画については事前に協議すること。

●21年度魚沼市防災訓練実施について

10月25日（日）午前には須原小学校を主会場として守門地域を主体に実施予定。

●新型インフルエンザへの対応について

医療機関においては国県の方針により、旧来のインフルエンザと新型を区別することなく窓口対応を行っている。市としては、予防対策の徹底という観点から、市民・事業所向けに広報紙・チラシの配布のほか、ポスター掲示、市ホームページによる注意喚起などを行っている。

●ガス料金改定について

電気料金等と同じように、輸入ガス価格の変動を販売価格に反映する制度の導入に伴い、ガス料金に関する公聴会のお知らせを市報に掲載。現在料金改定作業とその手続きを進めている。

●復興基金農業用水源確保対策事業等への対応について

8月31日に議長と県民生活環境部を訪問し、懸案事項の早期解決のため要望書を提出。調査結果の公表についてその時期を明示するよう申し入れ、改めて9月中には結論を出してほしいと強く要望した。

9月定例会補正予算

単位：千円

会計名	補正前の額	補正額	合計	説明	
一般会計	30,088,500	690,500	30,779,000	中越大震災復興支援事業 555,000 小出ICバス停・駐車場整備事業 1,500 緊急雇用創出事業など 134,000	
特別会計	国民健康保険	3,985,000	10,200	3,995,200	出産育児一時金 250 前年度交付金の償還金など 9,950
	介護保険	3,677,000	34,157	3,711,157	前年度交付金の償還金など

魚沼市中越大震災復興支援事業の概要

事業種目名	事業目的	事業内容	補助金（千円）	
地域営農活動支援事業	地域ぐるみで営農の組織化を進め、営農の継続や耕作放棄の発生防止を図る。	営農用機械・施設の整備費など組織で使用する構成員の機械・施設の修繕・移設費など	370,000	
震災復興モデル支援事業	震災復興のモデル的事業として先導的技術の導入等の新たな取り組みを支援し、地域農業の創造的復興を図る。	周年栽培を可能とする耐雪型栽培施設の整備や、流通販売強化のための冷蔵施設の整備など	切花施設（耐震ハウス）	175,000
			出荷調整施設（予冷庫）	4,000
地域特産化支援事業	地域資源を活かした特産物・加工品づくりなどに要する経費を補助し、地域の産業おこし、地域自立力を高める。	地域特産物加工販売施設や直食施設の整備など	6,000	
合計			555,000	

20年度 一般会計 実質

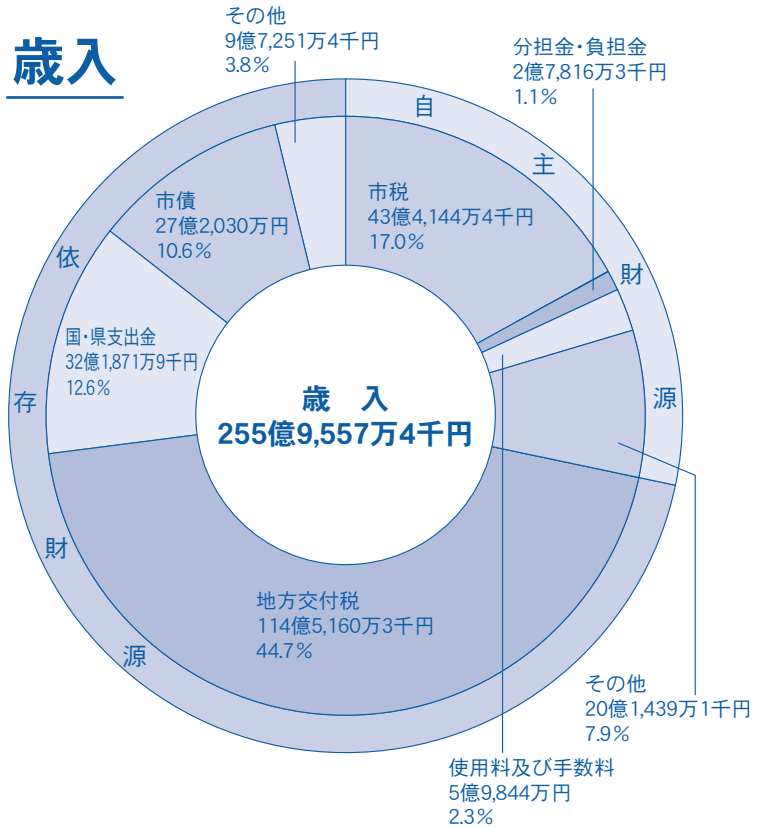
一般・特別・企業会計決算

単位：千円

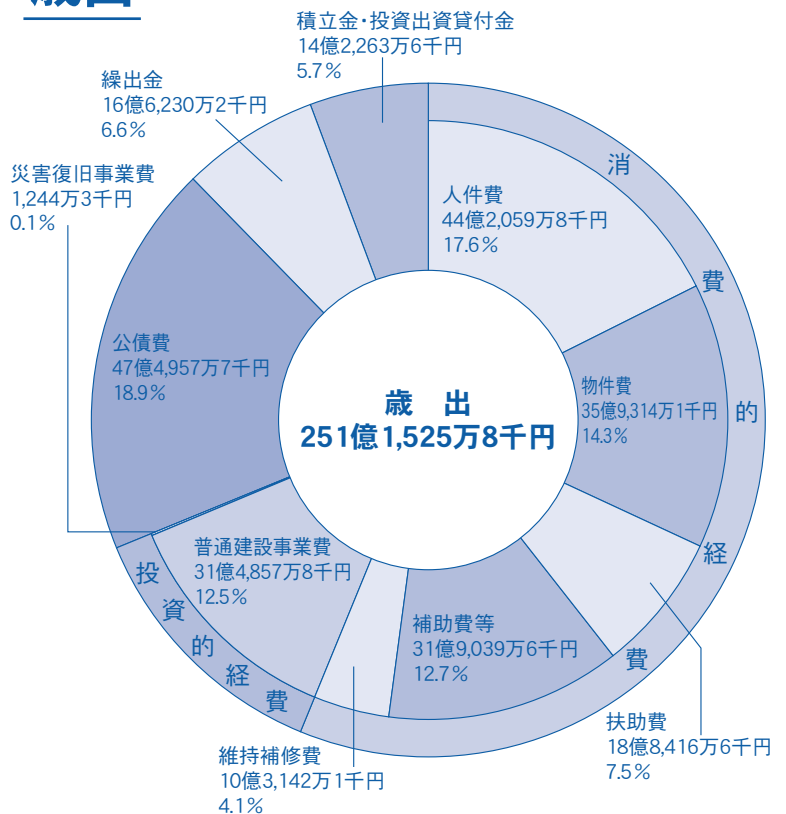
会計名		歳(収)入	歳(支)出	差引	
一般会計		25,595,574	25,115,258	480,316	
特別会計	国民健康保険	事業勘定	3,867,120	3,861,072	6,048
		直営診療施設勘定	263,992	263,806	186
	老人保健	437,485	449,489	△ 12,004	
	後期高齢者医療	692,351	688,193	4,158	
	介護保険	3,443,802	3,407,890	35,912	
	診療所	72,607	72,411	196	
	スキー場事業	234,452	234,218	234	
	簡易水道事業	560,611	560,516	95	
	工業団地造成事業	1,085,000	1,079,085	5,915	
	企業会計	病院事業	収益的収支	847,845	872,783
資本的収支			39,927	60,461	△ 20,534
ガス事業	収益的収支	820,504	724,881	95,623	
		資本的収支	35,382	290,801	△ 255,419
上水道事業	収益的収支	330,253	287,698	42,555	
		資本的収支	22,082	180,215	△ 158,133
簡易水道事業	収益的収支	120,806	107,278	13,528	
		資本的収支	10,119	58,754	△ 48,635
下水道事業	収益的収支	2,292,592	2,225,051	67,541	
		資本的収支	3,135,015	3,978,145	△ 843,130

資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度損益勘定留保資金、当年度損益勘定留保資金などで補てん

歳入



歳出



会計決算審査特別委員会報告 (主な質疑)

問 今春より導入された勤務評価制度について問う。

答 給与決定機関ではなく、人材育成のための制度、試行を行っているものである。業績評価、能力評価で職員の勤務能力の向上を目指すものであるが、今年度はスタートしたばかりなので2、3年後まで成果は見守ってほしい。

問 互助会の補助金はどのように使われているのか。市の職員の間ドック費用を負担しているのはおかしいと思うが。

答 使途は地域の祭等への参加、ボランティア、県内の市のスポーツ交流等である。健康診断、人間ドックの費用は調査して今後検討する。

問 財政だけを見て職員を減らせば良いものではない。今後の人員適正化計画について、庁舎問題も絡むので早く数値を示してほしい。

答 現行適正化計画をもとに研修などで質の向上も

図っていく。今年度は見直しの年なので、可能な限り早めて計画する。

問 新庁舎より住民の福祉、サービスに向けるべきという住民の声が多いが、新庁舎基金はどのように運用するのか。

答 行政効率化のため、庁舎一本化が必要であり、庁舎の増改築資金が必要となる。基金の運用は22年度に新しい考え方で検討していく。

問 庁舎統合の素案作りが進んでいるが、中央図書館の構想も一緒に考えているか。

答 空き庁舎の利活用と一緒に考えている。

問 町村合併時の42投票所から29投票所に再編され、市民からも問題提起されている。再検討する考えはないか。

答 全部を元には戻せないが、大きな不都合のある所は選挙管理委員会に再検討を願いたいと考えている。

問 市長車に黒塗りの高級車は必要なのか。また多額の管理費はどうか。

答 ある程度の装備は必要と考えている。5年のリース契約の途中でもある。管理費については、市長車と庁舎間の文書配送の車の2台を管理している。

問 政権交代に伴い、農業の戸別所得保障制度が導入された場合など、市の業務量の増加が予想される。産業課、福祉課は増員が必要になると考えられる。現場を熟知した配置を考えるべき。組織改革をする考えはないか。

答 事務量は多岐に渡ると思われる。大課制で進めていくが、必要があれば現場と相談しながら対応する。

問 保育料に対する保護者の意見はないか。

答 前年度分ではなく現年度分の所得で計算して欲しいという意見がある。

問 パブリックコメントの制度について、運用面で悪いとは言わないが、市民は取り組みにくい。少数意見だけで市民の声を聞いた形をとっているだけである。平成20年には意見0件という例もある。市民の意見を聞いたと言えるか。

答 平成18年より実施をしている。今まで15件実施をし、解答23人、寄せられた意見68件である。運用面で工夫が必要と考える。

問 魚沼市公債費負担適正化計画において、平成18年の計画では、実質公費比率が18%未満となるのは平成24年とされているが、21年の計画では、平成33年になった理由はなにか。

答 平成18年策定時では長期間の計画は好ましくないとこの県からの指導により、7年目にあたる平成24年に18%未満になるよう計画した。その後については、実態にあった計画とし、毎年度見直しを行っているところである。平成20年度

問 不納欠損額と収入未済額が多額となっているが、その理由と改善の方策は。

答 合併前からのものもあり、昨年の急激な経済の悪化もある。督促や催告をし、悪質な件に対しては差押えも実施しているが、一層の徴収努力をしていく。

の計画では、18%未満となるのは、平成42年を見込んだが、見直して平成33年にした。

問 保育所負担金の不納欠損の人数と最高額はいくらか。また収入未済の人数と最高額はどうか。児童手当などから差し引きは出来ないのか。

答 不納欠損は18世帯で最高は27万2千円、収入未済は97世帯で最高は155万7千円である。児童手当からの差し引き徴収は児童手当法の規定によりできない。

問 基幹病院の病床数に400床を加えても魚沼圏域では現在より100

平成20年度

問 床上減少するが、対応できるか。

答 医師・看護師不足の現状、現在の病床数の維持は困難であり、地域医療の充実と地域完結型医療体制で対応していく。

問 市立病院への一般会計への負担金について、堀之内病院は累積欠損金が増加の一途であり、基幹病院稼働時には廃止すべきではないか。

答 地域においては必要な病院であり、現在堀之内病院の実施している訪問介護、訪問リハビリ、訪問診療を充実させ、魚沼市地域全体に広げていきたい。堀之内病院の問題は、地域医療再編計画の中で検討していく。

問 只見線活性化の施策はこれでよいのか。福島県側と比して大きな格差があるが、魚沼市としての積極的な取り組みをやらないのか。

答 冬期通年運行、浦佐駅への乗り入れ等を要望し

ているが、今後観光PR、イベント等の拡大、充実をJRに訴えて、只見線の活性化に取り組んでいく。

問 小出駅前駐車場の拡幅についてどう考えているか。

答 民間主導の駐車場ができればと考えている。

問 直営温泉施設の運営状況と今後の方向性について。

答 大変厳しい状況であり、市営6施設で年平均1億4千万円程度の持ち出し

である。将来的にも改善は難しいが、県外との交流で学校教育や、課外活動を働きかけていく。今後期限付きで改善の無理な施設は廃止する。

問 直営の観光施設に従事する職員は、サービスや接客に関する勉強会や講習会を受講し、本気でお客様に接しようとしているか。また、集客をしようとしているか。

答 一般の方より接客について指導をいただいた事

もあり、検討する必要がある。

問 市営スキー場の運営状況と21年度中にスキー場全体の方向性を策定し、具体的な検討をしていくとあるが、進捗状況を問う。

答 直近4年間、年平均1億4百万円程度の持ち出しである。21年度中に再編計画の結論を出す、地域との折衝もあり、22年度予算に再編計画での予算を計上するかは未定である。

問 ケーブルテレビの運用はどのようになっているか。

答 6〜8百万円の持ち出しとなっている。現在、堀之内地域のみ整備されているが、全市への展開はしない。全世帯加入には時間がかかり、当面受益者負担のみではやっていけないが、加入促進に努めていく。

問 最終処分場の将来への構想は。

答 山形のジークライト株が今後15〜25年受け入れ可能とのことであり、最

終処分場建設には27億円以上必要なため、当面現状でやっていく。しかし、将来的には地区内に必要と考

え、総合計画に基づいて三魚沼地区で検討していく。

問 ナラ類の集団枯死被害が甚大であり、特に今年には爆発的であるが対策は。

答 魚沼市のみでの対策は難しい。被害は全県であり、長野県も同様に被害が出ているので、国・県に対策を訴えていく。

問 デジタル放送化に伴うアナログテレビの廃棄は半端な量ではなく、処理しきれず不法投棄が大量に増えることが考えられる。環境問題、特に投棄されたテレビやパソコンからの有害物質での水質汚染が心配だ。監視体制も含め、抜本的対策が必要と考えるが。

答 市報、看板などでの啓発活動、監視員の増員、家電販売店等に対する回収

推進のお願いなど行っているが、さらに対策を検討し

問 消防署渋川出張所の充実と、予防体制について

答 出張所の出動体制は国の基準からすると60%程度であるが自治体消防としての重要性もあり、充実した体制でやりたいと思っている。予防査察については勤務体制も含め、全員ができる体制を検討している。



	魚沼クラブ								21クラブ						七日会			一刻		日本共産党		会派の所属なし		
	岡部 忠好	遠藤 徳一	星野 武男	下村 浩延	本田 篤	大塚フミ子	佐藤 守	佐藤 貞一	関矢 孝夫	渡辺 一美	佐藤 肇	大桃 聡	佐藤 雅一	高野甲子雄	星 吉寛	森山 英敏	榎本 春実	浅井 守雄	森島 守人	五十嵐昭夫	住安 孝夫	大屋 角政	星 孝司	星 謙一
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	※

9月定例会 議案賛否の状況

◎議案

表中の記号について
○=賛成 ×=反対 -=欠席
(※議長は議案議決に加わりません。)

		会派	
		議員氏名	採決結果
陳情第1号	子どもたちが学費を心配せず安心して私立高校で学べるようにするために、学費軽減制度の拡充など公費（私学助成）の増額・拡充を求める意見書の採択に関する陳情	採	択
議案第92号	平成20年度魚沼市一般会計決算の認定について	認	定
議案第93号	平成20年度魚沼市国民健康保険特別会計決算の認定について	認	定
議案第94号	平成20年度魚沼市老人保健特別会計決算の認定について	認	定
議案第95号	平成20年度魚沼市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認	定
議案第96号	平成20年度魚沼市介護保険特別会計決算の認定について	認	定
議案第97号	平成20年度魚沼市診療所特別会計決算の認定について	認	定
議案第98号	平成20年度魚沼市スキー場事業特別会計決算の認定について	認	定
議案第99号	平成20年度魚沼市簡易水道事業特別会計決算の認定について	認	定
議案第100号	平成20年度魚沼市工業団地造成事業特別会計決算の認定について	認	定
議案第101号	平成20年度魚沼市病院事業会計決算の認定について	認	定
議案第102号	平成20年度魚沼市ガス事業会計決算の認定について	認	定
議案第103号	平成20年度魚沼市上水道事業会計決算の認定について	認	定
議案第104号	平成20年度魚沼市簡易水道事業会計決算の認定について	認	定
議案第105号	平成20年度魚沼市下水道事業会計決算の認定について	認	定
議案第106号	平成21年度魚沼市一般会計補正予算（第3号） 主に高齢者福祉施設と中越大地震復興支援事業などの追加補正	原案可決	
議案第107号	平成21年度魚沼市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 償還金の追加補正	原案可決	
議案第108号	平成21年度魚沼市介護保険特別会計補正予算（第1号） 繰越金と償還金の追加補正	原案可決	
議案第109号	財産（旧入広瀬民俗資料館）の処分について 財産を無償譲渡するもの	原案可決	
議案第110号	小出小学校教室棟改修工事請負契約の変更について 屋根と外壁に予想以上の老朽化があったため	原案可決	
議案第111号	魚沼市文化会館条例の一部改正について 野外ステージの使用料を定めるもの	原案可決	
議案第112号	魚沼市国民健康保険条例の一部改正について 出産育児一時金を引き上げるもの	原案可決	
議案第113号	魚沼市介護保険条例の一部改正について 延滞金利率の軽減期間を延長するもの	原案可決	
議案第114号	魚沼市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について 延滞金利率の軽減期間を延長するもの	原案可決	
議案第115号	魚沼市道路線の認定について 道路改良のために行なうもの	原案可決	
議案第116号	魚沼市道路線の廃止について 公園内道路として管理するため	原案可決	
議案第117号	財産（スクールバス）の取得について 広神地域のスクールバスを更新するもの	原案可決	
発議第16号	子どもたちが学費を心配せず安心して私立高校で学べるようにするために、学費軽減制度の拡充など公費（私学助成）の増額・拡充を求める意見書の提出について	原案可決	

稲作への 夜間照明公害対策は



星 孝司 議員

答 基本的には当事者間での協議により解決していただけだと考える

問 24時間営業のガソリンスタンド、コンビニ等の照明灯が、隣接する水田の稲作に影響を与えて収量の減少、品質の低下を招き、農家から苦情が出されている。農業委員会として、農地転用申請の際、隣接耕作者への被害が生じないように、業者に指導が出来ないか。

答 夜間照明による稲作の影響については、相談があれば技術情報の提供は行っているが、それ以上の関与は行っていない。

問 衆議院選挙の結果について

答 第45回衆議院選挙は、自民、公明の連立政権が惨敗し、政権交代となった。市町村に与える影響も大きいと考えるが、市政とのかかわりなのかで、どう受けとめているか。

答 魚沼市における農地転用については、県の許可事務となっている。申請は農業委員会です受理し、事務局及び地区担当農業委員が現地を確認し、毎年開催している農業委員会総会で審議し、魚沼市農業委員会としての意見を付して県に進達している。申請があった場合は隣接者へ転用する旨の話をしよう指導している。

答 政権交代が自治体行政の運営にどのような影響を及ぼすのか不安を感じないわけではないが、当面は国政の動向を注視する。

小出病院の建て替えと 医師の確保を働きかけよ



高野甲子雄 議員

答 現状の規模での建て替えは極めて難しい。医師確保は今後行動計画が明らかにされる

問 「魚沼基幹病院計画」には多くの問題点がある。1 地域医療は行政が責任を持つて確保すべきと考えるが、

答 質県立県営との違いはそれほどないものと捉えている。3 基幹病院を中心に医師や看護師が集まる病院づくり、医師を育てる仕組みづくりを行うこととしている。4 公設民営といえども公立病院であり、他の県立病院と医師等の人事交流は避けて通れないと理解している。5 現在の小出病院の一部機能を基幹病院にスムーズに移行するには、基幹病院の開院前に新病院の整備を完了させておく必要がある。今後新築に向けて取り組んでいきたい。

問 第45回衆議院選挙は、自民、公明の連立政権が惨敗し、政権交代となった。市町村に与える影響も大きいと考えるが、市政とのかかわりなのかで、どう受けとめているか。

答 「魚沼市非核都市宣言」の屋外広告物設置の考えは。

魚沼市の 地域医療再編計画を示せ



佐藤 肇 議員

答 現在、新・小出病院の整備構想を検討中

問 県は県立病院再編を目的に、27年6月の開院を目指し、魚沼基幹病院の設置を進めている。再編後の小出病院は魚沼市に引き継がれる。

答 本計画の策定と合わせた中で調整したい。2 公設民営方式の開設者はあくまでも魚沼市であり、県有財産の譲渡などに支障が生じることはないと考え。堀之内病院や診療所を含めた医療提供体制については、今後の検討の中で皆様の意見を聞きながら進めたい。

問 「魚沼市非核都市宣言」の屋外広告物設置の考えは。

答 市制施行5周年記念事業の一環として、既存の宣言塔あるいは広告塔を改修して対応する予定である。

堀之内病院を維持・ 存続していく考えはあるか



大屋 角政 議員

問 堀之内病院や診療所は、地域にとって必要な医療機関である。今後、維持・存続していく考えはあるか。

答 市内の医療体制のあり方として、不採算医療の公的使命なども踏まえながら、あるべき姿について、関係者の意見を聞きながら明らかにしていきたいと考えている。

問 医師確保対策を市独自で確立していく考えはあるか。

答 最重要課題だと認識した上で、市独自の対策は大変難しい現状である。

問 基幹病院の精神科入院病床は50床だが、慢性期や回復期の入院体制が取れていない。再度、強力で県に対して要請すべきでないか。

答 関係者の意見を聞きながら今後明らかにしていきたい

答 新潟県では、医療機関、精神障害者家族会、障害者地域生活支援センター、関係市町村からなる「魚沼地域の精神障害者の医療・福祉支援体制を考える会」を組織し、福祉の側面も含めた支援体制について検討を始めており、市としても引き続き、患者やご家族が安心できる体制整備に向けて、関係者と協議を進めていきたい。

問 政権交代で、魚沼市への運営に期待するところ、不安のところはあるか。

答 今のところ不安はあるにしても、これからの自治体にもどるよう影響があるかということについてはもう少し見守っていききたい。地方分権改革も期待している。

保育事業の方向性を 市民と一緒に考えては



渡辺 一美 議員

保育事業について

問 1 保育事業の長期ビジョンと3〜5年の計画案を策定し、社会全体で子どもを育てる方向性を市民と一緒に考えてみては。

答 1 現在、公立保育園再編等に係る基本的な方針の見直しを検討しているとともに、「次世代育成支援行動計画」の後期計画も策定中。ご指摘の点も参考にしていきたい。

問 2 現在の保育士の年齢構成がかなりいびつであり、長期にわたり保育士の正規職員採用をしていなかったことから総合的に判断した。市職員採用基準について

答 1 面接試験官は誰か。また信頼性を高めるため、外部の面接試験官を考

問 2 市民からの意見を取り入れ、新たな判断基準を作る考えはあるか。

答 1 市長、副市長、課長級職員等で行う。外部の面接試験官については現在のところ考えてはいない。

答 地域の意見をできるだけ聞く機会が作れるよう工夫する必要があると考える

問 2 市の採点基準による採点表の集計により判断しており、今現在その見直しは必要ないと考えている。

問 環境対策室の調査報告を踏まえ市民の被害状況を調査し、今後の対策を考えてはどうか。

答 現在市内において、蚊による感染症の発症例や蚊アレルギーの相談も寄せられておらず、当面は被害状況調査は予定していない。

問 大規模にも小規模にもそれぞれメリット・デメリットがあるが、一定規模以上の集団の中で過ごす環境が求められており、ある程度の集団の中で、周りからの刺激や影響を受け、柔軟に、しかも力強く学び、行動することができると環境を実現できるような学校規模への編成について検討を行うことは行政の責務ではないかと考える。また学校は地域のよりどころ

問 小学校6年間複式学級で学んだ私の体験からしても、小規模校だと子どもが満足に育たないなどというのは、迷信である。

答 山間地域のバスの便が減らされて困っている、という声が多い。住民生活に欠かせないサービスであるから、以前の水準を守るという方針でゆくべきではないか。

学校統合計画を見直す 考えはないか



住安 孝夫 議員

答 保護者・地域とよく話し合いながら慎重に検討したい

問 小学校6年間複式学級で学んだ私の体験からしても、小規模校だと子どもが満足に育たないなどというのは、迷信である。

問 山間地域のバスの便が減らされて困っている、という声が多い。住民生活に欠かせないサービスであるから、以前の水準を守るという方針でゆくべきではないか。

答 今年度中に地域公共交通の活性化を目的とした「魚沼市公共交通総合連携計画」を策定する中で、市民の皆様から公共交通機関を今まで以上に利用していただけなく、現行の運行体制を見直し、それを新年度から実施できるように考えている。

問 今年度中に地域公共交通の活性化を目的とした「魚沼市公共交通総合連携計画」を策定する中で、市民の皆様から公共交通機関を今まで以上に利用していただけなく、現行の運行体制を見直し、それを新年度から実施できるように考えている。

問 今年度中に地域公共交通の活性化を目的とした「魚沼市公共交通総合連携計画」を策定する中で、市民の皆様から公共交通機関を今まで以上に利用していただけなく、現行の運行体制を見直し、それを新年度から実施できるように考えている。

問 今年度中に地域公共交通の活性化を目的とした「魚沼市公共交通総合連携計画」を策定する中で、市民の皆様から公共交通機関を今まで以上に利用していただけなく、現行の運行体制を見直し、それを新年度から実施できるように考えている。

一般質問 (通告順)

一般質問 (通告順)

平成22年度の
予算編成の目玉は



森山 英敏 議員

答 財政健全化に向けた
取り組みを強化する

問 市長にとって平成22年度の予算編成は2回目となるが、どんな考え方で臨むのか。また、景気対策、財政再建、福祉や住民サービスの向上など市民の意見は多種多様である。どこに重点をおいて予算編成をするのか、市長の見解を問う。

答 魚沼市の骨格となる政策をまとめた行財政の基本方針を策定し、これをもとに予算編成方針を決めるスタイルとする。魚沼市の財政状況を考えれば、「財政健全化」を基本とし、これを実効のあるものにするため、現時点での財政見直しを作成する。そして健全化を

大前提としたうえで地域医療の再編や地域産業の活性化などの重点施策に取り組みと同時に、環境施策も積極的に実施していきたいと考える。

衆議院選挙の

結果について

問 先の衆議院選挙において政権与党の自民党が敗北し、政権交代が確実となった。これにより国においては大きな政策転換があると予測され、市政も大きな影響を受けることになるかと考えるが、市長の見解を問う。

答 当面は国政の動向を注視していく。

専門科を備えた高校の
設置を県に働きかける



下村 浩延 議員

答 具体的な行動に至ってはいないが、構想の一つである

問 民主党政権となつて、高校教育が無償化になるようだ。大不況の中、上の学校への進学を断念する高校生が増えている。魚沼市の高校に専門科の新設に取り組んでほしいがどうか。

答 高等学校に限らず、魚沼の気候風土にあった特色のある教育が受けられる教育機関を設置あるいは誘致できないものかと思っている。

問 次に上げる市長公約の成果と今後の取り組みについて問う。
1 心を育てる教育を目指し、一貫性のある方針で教育効果を高める。
2 地元産業への支援、育成に取り組む。
3 魅力ある中心市街地の形成に連携して取り組む。
4 職員の能力、専門性が向上する人材育成に取り組む。

答 1 幼稚園や保育園も含めて各中学校区単位でのサポート委員会を立ち上げて、市全体として子どもたちの心を育てるための課題解決に向けた取り組みを行っている。
2 緊急経済対策として、新規に常用雇用者を採用した企業等への補助、教育訓練を行う企業者等への補助、国の雇用調整助成金等に上乗せして助成する事業を新規創設し、支援していくこととした。今後は、更に農工商連携を図るなど業種間の連携によって新たな産業の創造を図り、働く場の創出に取り組む必要があると考える。
3 商店街や商工業者に対する支援措置として、各商工会に助成を行うほか、商店街活性化への支援として各種助成などの取り組みを進めている。
4 「人材育成基本方針」を策定し、市として目指すべき職員像や職場の姿を明確に示すとともに、人事政策の基本方針として各種の取り組みをしている。

芝桜公園とPAを結ぶ
自由通路の設置を



星野 武男 議員

答 高速道路管理者の東日本高速道路(株)と協議を重ねている

問 「根小屋花と緑と雪の里」を堀之内PAのハイウェイオアシスとして活用すべく、自由通路の開設と魚沼市の特産品直売所の設置を考えているか。

答 公園整備を担当している魚沼地域振興局では、パーキングからの自由通路整備による高速道路利用者の来園客誘致を考えており、現在自由通路利用者のルート等検討しているが経費面での整合など課題も多く、なかなか進展していないのが現状である。なお、市として直売所を設置することは考えていない。

問 水道料金の統一についてどう考えるのか。
答 本来であれば平成22年度から水道事業を安定的に経営できる料金に統一するべきだが、昨今の経

済情勢等は大変厳しく、平成22年度においては、激変緩和措置などを検討したいと考える。なお、料金の完全な統一については、経済情勢などを見極めて実施時期を検討したいと思う。

問 清水上遺跡の縄文土器の展示について問う。
答 「根小屋花と緑と雪の里」に展示、小学生の教材に活用したらどうか。

答 活用の試行として縄文時代を学ぶ講座に合わせ、新潟県教育委員会から出土遺物を一部借用し、「根小屋花と緑と雪の里公園」の管理棟に展示したいと考える。

問 選挙の投票時間を2時間繰上げる考えはないか。
答 今後、期日前投票の投票率や市民の皆様の意向など勘案し、選挙管理委員会として前向きに検討したいと思う。

食の循環型社会の

実現にむけて



関矢 孝夫 議員

問 家庭から出る生ゴミを使った堆肥作りは、焼却処分から出るCO2の削減による環境を良くし、エコプラントの経費削減ができる。なにより食べる者の健康を第一とした作物ができ、学校給食や市民の台所に送られていく。この食の循環型社会には魚沼市の将来のためにも、官民が一体となって実現に向けて取り組みが必要と思う。市民にどう理解と協力を求めるか、また家庭から出る、生ゴミ処理の今後の取り組みについてはどのように考えているのか。

答 循環型社会の構築に向けて、市民に対して

答 は廃棄物や不要物の「発生源抑制」「再使用」「再資源化」の推進をより積極的に啓発し、事業者に対しては、事業から発生する廃棄物・不要物の中から資源化できるものを適正処理するよう指導し、環境マネジメント等の導入も呼びかけたい。

また、平成22年度に市民、事業者の代表者等から様々な意見をいただきながら、魚沼市地球温暖化防止地域推進計画を策定する予定である。家庭系の生ゴミについては、今後有機センターで堆肥化を可能にするための仕組みづくりから検討していきたく考える。

有機センターの

民間移行は可能と考えるか



星 吉寛 議員

問 平成22年度からフル稼働を目指し本年4月から試験稼働している「有機センター」の管理運営を民間に移行するまでのスケジュールはどのようなになっているか。

答 原材料となる畜フンやキノコの廃菌床などを安定して受け入れる体制づくりを進めながら民間への移行を促していききたい。

また、計画通り民間に移行できると考えているか。

答 原材料の安定した受け入れ体制を進め、民間への移行を促していききたい。

工夫を行い、経費削減による早期の収支平準化を進めていきたい。

まず経営に対して創意

地球温暖化防止と

森林整備の促進にむけて



遠藤 徳一 議員

問 当市は地球温暖化を深刻な環境問題ととらえ、二酸化炭素吸収量確保に向け森林整備を急ぐ必要があると思う。また、森林整備の際、搬出される間伐材の利活用も合わせて考える必要がある。森林経営は環境問題や資源循環型社会の実現、雇用創出などを生み「大いなるいなか魚沼市」を担う産業になると思うが見解を問う。

答 従来からの下刈り、除伐、間伐等の現地整備を更に推進し、間伐等による発生材の有効利用を図るための運搬費助成を講じるほか、近隣市町村にはチップ・ペレット工場が建設されていることあり、今後はさらに利活用の面からの森林整備の取り組みを推進していきたく考える。

問 3年に一度の固定資産評価替えが行われた。固定資産の評価額が非常に高くなったことに気づかない関係者に対して、どのような形で周知徹底を図るのか。

答 対象は薪炭林といわれる、私有林、集落・自治会林や生産森林組合林などであり、市が森林組合に委託して事業を実施。雇用の規模はまだ明確にはなっていないが、日々雇用とし、できるだけ多くの地元の方々の雇用をお願いすることとしている。

販売等については、集積場内に新加工機械、事務所を設け、価格等の詳細はチラシ、広報で周知したい。

現地整備推進や運搬費助成のほか、利活用面での取り組みを推進したい

一般質問 (通告順)

知的障害のない発達障害 (高機能広汎性発達障害(アスペルガー症候群を含む)、学習障害)の支援策は



本田 篤 議員

ステップアップ教室など、幼児期から学齢期への必要な支援の継続に努めている

問 1 就学までの支援に対する家族の参加と理解はどのような状況であるか。
2 就学を機会に、縦割り行政の弊害により支援が途切れないか危惧する。「途切れない支援」が必要であるが、市としての方策を問う。
3 行政・地域・各機関と家族との「つながる支援」が必要である。どのように連携をとっていくか。

答 1 両親での参加もみられ、保護者の方の理解が進み、どんどん積極的になってきたと感じている。
2 教育委員会では、今年度から指導主事2名を増員し、特別支援教育充実のための学校訪問の実施、就学に向けた保護者会の実施を行っている。
3 地域での障害福祉の連携及び支援体制を協議する場として設置した、「魚沼

魚沼市経済危機対策 臨時交付金の効果は



佐藤 貞一 議員

景気回復の時間までにはもう少し時間がかかるものと思われるが、引き続き対応していきたい

問 大型補正の経済効果について説明を求めたい。雇用、所得、消費、物流、税収等、地域家庭への波及効果は。市の経済指標に変化はあるのか。
答 景況の回復は見られず、市内の雇用環境も悪化しており、依然として厳しい状況が続く。深刻な情勢が続いている。経済対策は一朝一夕には効果が見えてこないもので、景気が回復したと実感できるまでにはもう少し時間がかかるものと思われ、引き続き対応していきたい。

問 1 精神障害者家族会の不安に、どのように対応するのか。
2 公設民営のメリットは。
答 1 県と連携しながら医療だけでなく福祉面からも対応していかなければならぬと考えている。
2 めまぐるしく変化している医療環境に対し、患者のニーズにあった医療をすばやく提供でき、また、民間ノウハウを活用した経営が期待できる。

失業者の雇用対策と 公務員の再就職は



佐藤 雅一 議員

緊急経済対策や雇用対策事業等を最大限活用している

問 完全失業率が過去最悪となり、雇用情勢の厳しさは深刻の度合いを深めている。市として退職公務員の再就職に係わる諸問題を含めた改善の方向性を問う。
答 7月に企業の業況・施策に関する調査を実施し現況を把握した中で、緊急経済対策や雇用対策事業を最大限活用して、地域産業の活性化と雇用基盤の確保と安定を図るため、企業誘致と共に取り組んでいる。今後は新分野への取り組みを支援し、就業の場を創出することにも力を入れていきたいと考える。

問 3 指名競争入札の採用拡大の検討は。
答 1 可能な限り地元業者を優先する考えは今後も継続する。また、業者の選定基準や定義についても常に検討が必要と考えている。
2 国、県の排除対策の内容や結果を注視しながら、来年度に向けて一定の基準を追加する等、本来の適正な受付・設定が図れるよう検討をしている。
3 この度の経済危機対策関連の大型補正では、特に地域の効果発現が言われ、当市の取組案件でも入札件数が多くなるものが想定される。特例的に期間を限定し実施するものであり、今後の継続及び適用の拡大については検討していない。

エコカー更新

二十台について問う



大桃 聡 議員

経済危機対策の趣旨を勘案し、老朽化した公用車を更新

問 緊急経済対策を受けての予算付である。財政再建または市長公約の無駄を省くという観点から無駄がなかったか22項目にわたり問う。

答 復興基金

井戸掘り事件について

問 財政再建、無駄を省くという観点から、調査費用をはじめ、多額の費用が掛かっている。視点を変えればこれも無駄遣いだと思う。早期解決を願い既に市で実施した調査結果から15点について問う。

答 調査中の事案であり、結論を得たうえで厳正に対応する考えに変わりはないとご理解をいただきたい。8月31日に復興基金に対し、議長とともに改めて早期の解決を要請してきたところであり、9月中を目途に何らかの形で調査結果を報告できるものと考えている。

問 二酸化炭素の削減を図るため、取得後10年を経過、または20万キロ以上の走行距離がある老朽化した公用車を小型乗用車8台、軽ワンボックス自動車4台、軽乗用車8台に更新するもの。入札業者の指名にあたっては、指名審査委員会の審査を経て決定している。発注方法、車種、搭載機能等については、取得コストの低減、使用実態等を勘案した中で購入である。

庁舎再編整備調査 特別委員会報告

9月1日

審査事件

1 庁舎再編整備について

改選後初めての委員会であることから、これまでの資料と経過について説明を受け、質疑を行なった。

問 23年度に着手の予定とあるが今年度中に場所を選定するつもりか

答 議会や市民の意見を聞いた上で、できれば12月には基本構想をまとめたいと考えている。

問 アルプス電気跡地は選考場所に入るのか。

答 検討はさせていたが、外したなかでの選考となる。

問 市長は新庁舎をつくらぬとの事だが、建設より維持管理費などのコストが多くかかる場合はどうするのか。

答 そういう結果が出たとしても、つくらないとの考えである。

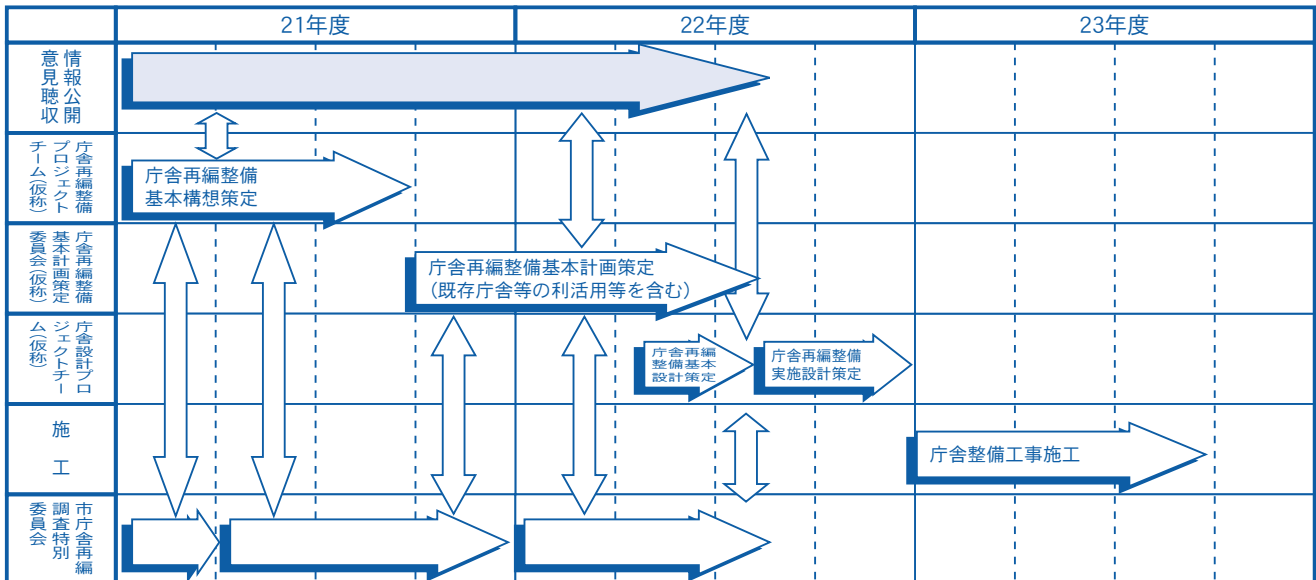
問 増改築や駐車場などは合併特例債の対象となるのか。

答 26年度に完了であれば、全て特例債の対象

となる。

執行部よりたたき台となる素案が出来しだい委員会を開き検討する事とした。

全体スケジュール(イメージ)



地域医療対策調査 特別委員会報告

8月24日

調査事件

1 魚沼基幹病院

(仮称)

基本計画(素案)について市議会改選後の初委員会(新人も多数)などで、今までの経過について説明を受け質疑を行った。

また、第5回魚沼地域医療整備協議会の内容についても質疑を行った。

基幹病院の建設地をゆきぎに大和病院敷地内とするに對し県知事より同意を求められた件に

ついて、全委員の意見を求め、当局から判断と対応をしてもらったこととした。

2 今後の取り組みについて

近々に勉強会をやる事で一致。9月9日と15日に勉強会を実施した。

基幹病院の整備工程が示されたなかで、魚沼の地域医療全体の再編内容

節目の工程等、現時点での状況について説明を求めたい旨、当局に對し申し入れた。

復興基金事業調査 特別委員会報告

8月5日

調査事件

1 井戸問題について

市議会改選後の事実上

最初の会議であるので、今後の特別委員会としての調査活動について自由討議を行った。

8月24日

調査事件

1 井戸問題について

市長の出席を求めて質疑を行った。

これまでの市と復興基金当局による調査結果報告の早期提出を求める発言が相次いだ。市長は、調査がすべて終了し復興基金が結果を出すまでは、

市が単独で調査結果を公表することはできない、とのこれまでの態度を変えなかった。

2 今後の取り組みについて

前回の会議での討議にもとづき、

①参考人招致

②市民の意見を聞く会の具体的な計画を決定。

③実施期日は10月28日。

総務文教委員会報告

8月5日

調査事件

1 現地調査について

広神中学校及び旧入広瀬民俗資料館を視察した。

9月16日

審査事件

陳情第1号

子どもたちが学費を心配せず安心して私立高校で学べるようにするために、

②市民の意見を聞く会の開催

以上2点が委員長から提案された。

調査事件

1 井戸問題について

①市長から、この問題の解決が長引いていることについて遺憾の意の表明があった。

②産業課長から、2月以來現在までの調査活動の経過が報告された。

③市民の意見を聞く会の具体的な計画を決定。

詳細は10月10日号の「市報お知らせ版」に掲載。

学費軽減制度の拡充など公費(私学助成)の増額・拡充を求める意見書の採択に関する陳情

採択

問 政権交代があり、民主党の公約に私学助成も含まれていると思うが陳情する必要はあるのか。

答 民主党の教育振興の公約のひとつとして、私立学校の助成があるが、陳情に對して当委員会に付託されているので、採択あるいは不採択、保留を含め質疑をお願いする。

問 政権交代があり、民主党の公約に私学助成も含まれていると思うが陳情する必要はあるのか。

答 民主党の教育振興の公約のひとつとして、私立学校の助成があるが、陳情に對して当委員会に付託されているので、採択あるいは不採択、保留を含め質疑をお願いする。

問 経済対策として地元業者を優先すべきと考え

答 地元優先と考えている。

調査事件

1 閉会中の調査事件

議長宛申し出ることにした。

2 行政視察について

研修先はまちづくり基本条例の制定先進地とした。

3 その他

①まちづくり基本条例について

問 条例を一番理解しなければならぬのが職員



広神中学校視察

福祉環境委員会報告

7月31日

調査事件

1 現地調査について

有機センター、エコプラント魚沼を視察し、臭気対策や現況、課題について調査した。

有機センターの臭気問題については、対策修繕工事後に再調査することとし、施設内の高温問題については、対策を含めて検討することとした。エコプラント魚沼については、最終処分場や焼却施設について現状と課題について報告を受け、意見交換を行った。今後委員会としては、施設に勤務する職員等の健康管理や、環境問題等について引き続き調査することとした。

9月16日

審査事件

議案第111号

魚沼市文化会館条例の一部改正について

原案可決

議案第112号

魚沼市国民健康保険条例の一部改正について

原案可決

議案第113号

魚沼市介護保険条例の一部改正について

原案可決

議案第114号

魚沼市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

原案可決

調査事件

1 閉会中の調査事件

議長宛申し出ることとした。

2 行政視察について

各委員会で行くか、全議員による議員派遣とするか又は視察内容についても議論、検討し、正副委員長に一任した。



エコプラント魚沼視察



有機センター視察

産業建設委員会報告

8月11日

調査事件

1 現地調査について

ホテル大自然館、浅草山荘の現地調査を行い現在の使用状況や今後の予定について質議した。ホテル大自然館は22年以降の運営は白紙であり、浅草山荘は改修を因って関係自治体との交流を継続する。大原及び須原スキー場の概要や特徴について説明を受け、総括では市内5スキー場の再編については今年度中に骨子をまとめる予定であるとの答弁があった。

2 その他
堀之内花き組合の復興基金事業への取り組みについてと、有機センターの臭気対策のその後について質問が出され説明を受けた。

9月17日

審査事件

議案第115号

魚沼市道路線の認定について

原案可決

議案第116号

魚沼市道路線の廃止について

原案可決

調査事件

1 閉会中の調査事件
議長宛に申し出ることとし、内容、時期は正副委員長に一任した。

2 行政視察について

全議員派遣で統一した。

3 その他

企業課関係ではガス料金改定(案)等公共料金について説明を受け質議した。



ホテル大自然館視察



須原スキー場視察

市民の声

伝え続けたい

郷土料理



七日市 大桃久子さん

秋を迎え、たわわに実った稲穂、収穫を待つ秋野菜、魚沼の食の豊かさを改めて感じる今日この頃です。

私は、十数人の仲間と郷土料理を伝承していく活動をしています。郷土料理は、この地で採れた山菜、野菜を利用し、行事や季節と共に作られた料理なので、魚沼の文化そのものだと思っています。でも、核家族化が進み、手間のかかる山菜料理等はなかなかできないのが実状です。そこで思うのが、どのようにしてこの文化を伝え続けたら

よいか?と言う事です。

私は、給食を利用して、子ども達に味を経験してもらうことが一番いいのではないかと思っています。

ぜひ、地産地消も兼ね、給食のメニューに郷土料理をたくさん取り入れてもらえるよう、常任委員会や議会で取り上げていただくことを願っています。

気持ち良く

六沢 浅井美代子さん

魚沼市が誕生してない数年前の事です。「ドライブで入広瀬に行ったけど、祖母が使える様なトイレが見つからなくて困った。」と友人に言われました。

それ以来、出掛けた先々のトイレ事情が気になる様になりました。

室内外を問わず、看板などが設置されて見つけ易く、清潔でバリアフリー、誰でも使えるトイレがあると、細やかな気配りをする優しい地域なんだな、と感心します。

県境に在り、新潟県の玄関口ともいえるここ魚沼市はどうでしょう。新潟バリアフリーガイドマップによると、魚沼市には車いす用トイレが設置されている施設は58カ所あるようですが、誰でも気軽に立ち寄れる場所は少ない様に思います。



議会を傍聴してみませんか



市議会ホームページをご覧ください

魚沼市のホームページに、市議会のページを開設しています。

議会の構成、議員の紹介、議会の日程、本会議や特別委員会の会議録、議会だよりを掲載しています。

ホームページアドレス
<http://www.city.uonuma.niigata.jp/>

魚沼市議会では、井戸問題について「市民の意見を聞く会」を開催します。

日時 10月28日(水) 13時30分～
場所 広神コミュニティセンター 3階講堂

発言者以外の市民の参加は自由です。議会傍聴の時と同じく、傍聴規則に従って下さい。

あ と が き

政権交代で市政へ与える影響がどうなるのかと期待と不安が叫ばれるなか、平成20年度魚沼市各会計決算の審査が行われた。決算の認定について賛否はあったが、一般会計を含む14議案の決算が認定された。とはいえ問題は山積しており、各種収入未済額の多さ、直営施設への赤字補填、分庁舎方式による庁舎等維持管理費などがあげられます。すべて皆様の血税です。無駄な部分はないのです。次年度予算審査の際は、それらの問題を踏まえて臨みます。

(遠藤徳一)

